



京都市
CITY OF KYOTO



<報道発表資料>

(大学同時)

令和7年8月13日

公立大学法人京都市立芸術大学附属施設事務室

取次：京都市文化市民局文化芸術都市推進室文化芸術企画課

京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA 申請展の開催

「包摂とQ」及び「モノに学び、ものをつなぐー 水・土・虫・草木・獣毛・染料・布などー」

京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA（アクア）では、2025年度申請展として、「包摂とQ」及び「モノに学び、ものをつなぐー 水・土・虫・草木・獣毛・染料・布などー」の2展を開催します。

【開催概要】

- 展覧会名：「包摂とQ」
「モノに学び、ものをつなぐー 水・土・虫・草木・獣毛・染料・布などー」
- 日時：令和7年8月17日(日)～令和7年9月15日(月・祝)
午前10時～午後6時
(月曜休館、9月15日(月・祝)は開館)
- 場所：京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA
(〒600-8601 京都市下京区下之町57-1 京都市立芸術大学C棟1階) [地図](#)
- 入場：無料
- 主催：京都市立芸術大学
- 協力：京都市立芸術大学美術学部同窓会象の会

【展覧会概要】

「包摂とQ」

「包摂とQ」展は、水木壘とアーティスト・コレクティブ「山水東京」の共同企画による展覧会です。本展では、俯瞰的・制度的な「多様性」ではなく、他者や他種との関係を自らの問題として引き受ける「包摂」の姿勢に注目します。出品作家である小宮りさ麻吏奈+鈴木千尋、中村太一、長谷川由貴、水木壘の作品は、それぞれQで始まる性質——【Queer（クィア）/Quagmire（沼地、入り組んだ状況）/Quiver（震える、揺らめく）/Quietude（内的な静けさ）——】を含んでいます。これらのQを鍵語として見返すと、「包摂」は私たちの生活の中で生じる摩擦や交錯、すれ違いを含んだプロセスとして捉え直すことができます。それは、共生の理想ではなく、現実の複雑さに根ざした応答の扉を開くのではないのでしょうか。文化人類学や都市論、クィア理論などを横断しながら、本展は都市という錯



京都市
CITY OF KYOTO



綜した場における「包摂」の可能性を観客とともに問い直します。

「モノに学び、ものをつなぐー 水・土・虫・草木・獣毛・染料・布などー」

本展では、博物染織品の保全修整研究家である梶谷宣子氏が、長年ニューヨーク・メトロポリタン美術館に勤務のかたわら、世界各地で調査・収集してきた染織素材資料を中心に、「染織博物学 (Textile Nature & Cultural Studies)」という新たな研究分野の実践として、学生による実習の記録や映像をあわせて展示します。「染織博物学」とは、繊維の種類、構造、質感、色など、糸や布そのものがもつ物理的特性や素材の成り立ち、その意味を多角的に捉えようとする営みです。それは、身近にある物の源へと私たちの目を向け、新たな気づきをもたらしてくれるでしょう。

【参考画像】

「包摂と Q」



Taichi Nakamura, *char fishing*, 2025
oil, acrylic on cotton, 1620x1300 mm.

<参考作品画像>

「モノに学び、ものをつなぐ

ー 水・土・虫・草木・獣毛・染料・布などー」



「モノに学び、ものをつなぐー 水・土・虫・草木・獣毛・染料・布などー」<イメージ画像>

【京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA について】

「@KCUA」とは、京都市立芸術大学の英語表記「Kyoto City University of Arts」の頭文字に場所（サイト）を示す「@」を付け、「アクア（ラテン語で「水」）」という読みをあてたものです。生命を養う水のように、芸術が人々の暮らしに浸透し、創造力豊かな社会に貢献するという本学の理念を表現しています。2010年にキャンパス外のサテライト施設として開設されましたが、2023年10月の京都駅東部エリアへの大学キャンパス移転にともない、キャンパス内施設として新たなスタートを切りました。



京都市
CITY OF KYOTO



【申請展について】

「申請展」とは、京都市立芸術大学の修了生・卒業生・教職員・在学生を対象とした企画公募により、@KCUA 運営委員会による審査を経て選出された展覧会です。

【京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA へのアクセス】

JR／近鉄／地下鉄京都駅徒歩 6 分

京阪七条駅徒歩 10 分

バス：「塩小路高倉・京都市立芸術大学前」バス停下車すぐ

※来客用駐車場はございません。

※入館の際に介助を必要とされる方は、お申し出ください。

【本事業に関するお問い合わせ先】

○会場等実施方法に関すること

京都市立芸術大学附属施設事務室

電話：075－585－2076

※午前 8 時 30 分～午後 5 時 15 分（平日のみ）

○展覧会の出展作家や作品に関すること

京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA

電話：075－585－2010

※午前 10 時～午後 6 時（月曜休館、祝日の場合は翌平日を休館）